【目次】

（1面）表紙・巻頭挨拶／台湾視察
（2面）代表質問
ブルーインパルス要請等
（3面）2022年一年間の議会質問
（4面）議会質問、各所へ視察

連絡先
沖縄・自民党会派室
〒900-0021
那覇市泉崎1-2-3　6階
TEL 098-866-2754
会派HP

沖縄県予算約8,682億円過去最高額！

沖縄振興予算は2,679億円！経済危機を乗り越え県民性津を守る！

皆様方には、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。日頃から大変お世話になり厚く御礼申し上げます。この度、県議会活動３年目を迎え、「第３回議会活動ニュース」を作成いたしましたので、是非一読頂ければ幸いでございます。

令和５年２月議会におきまして令和５年度予算が審議され、**一般会計当初予算8,682億円、沖縄振興予算2,798億円**が議決されました。玉城知事の県政運営は、普天間基地代替施設問題（辺野古基地建設）をはじめとする米軍基地問題に特化され、政府との連携・協調のパイプが構築さないまま沖縄振興予算は減額の一途をたどっています。市町村では、公共投資交付金（社会資本整備費）や一括交付金の減額予算に伴い、地域における社会資本整備（道路、下水道、公営住宅、公園整備など）や地域の特色を活かした企画立案が実施できない状況が続いております。

これまで、私達、会派沖縄・自民党は、ロシアによるウクライナ侵攻の影響による原油価格や畜産飼料、施設園芸資材などの物価高騰に対する支援策や、電気料金の大幅値上げに対する支援など、県民生活を支える施策を政権与党である自民党とのパイプを十分に活かし、県議会において議論を主導しその対策実現を図ってまいりました。

宮古圏域を含む沖縄県の振興発展を考えた場合、島の景観や環境を守り「持続可能な開発（SDGｓ）」を目標に、様々な問題点や課題点の解決に取り組む必要があります。下地康教は「一人ひとりの生活に寄りそう政治」を原点に、沖縄県民の命と暮らしを守るため、課題解決に向け全力で取り組んで参ります。どうぞ、これからも皆様方のご指導、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

台湾への視察

今回の台湾視察は、台湾の中心都市である台北市における行政庁訪問と台湾安保協会との台湾有事などについての意見交換を行った。

台湾保安協会での座談会では、ロシアによるウクライナ侵攻を事例に上げ台湾有事に係る意見を交わした。

まず、台湾市民は、現時点において台湾有事に関する緊迫感や危機感はさほど感じていないとの報告があった。

ウクライナは独立国家としてロシアとの間に国境を有しており、侵攻とは国境を超えて他の国が武力を行使することであり、国際問題として世界に訴える事ができる。

しかし、台湾は国際的に独立国家として承認されておらず、中国と台湾との間に国境が存在しない。

そこで、台湾有事は国際上、内戦と判断される可能性が高く、世界の国々から台湾に対する支援を受ける事か困難になる事も想定されるとのこと。

単に、台湾有事と言っても様々なケースを想定して対処しなければならないとの事であった。

私たちの沖縄県は、日本で最も台湾に近い国土であるため、今後、台湾有事に関してはさらなる議論を深め、今後の政治活動に活かしていきたい。

また、台湾日本協会では、宮古地区選出の議員として沖縄と台湾の友好関係を深めるため、宮古島市にある下地島空港での宮古ー台湾直行便開設の要請もう併せて行なって来ました。

代表質問議事概要

令和５年（２０２３）
第１回（２月定例）議会

「農林水産物不利性解消事業の現状と課題」

Q下地康教
これまでの輸送費補助は、54の特定品目を指定し、宮古から空輸でキロ当たり１４０円、海路でキロ当たり３５円であった。新たな制度内容では特定品目がなくなり、サトウキビ・米を除く全ての品目で空輸、海路問わず県外がキロ当たり６５円、宮古から沖縄本島までキロ当たり３０円となった。現場からは戸惑いの声が上がっているが、現状と課題を伺う。

A農林水産部長
今回の制度変更には３つの目的があります。一つ目は、国の進める農林水産物等のモーダルシフト（トラックなどの自動車貨物輸送手段を、環境負荷の小さい船舶などへ転換させること）の推進、二つ目は横持作業の削減による流通・物流の合理化、３つ目は品目の拡大に伴う生産出荷者と物流業者が連携したコールドチェーン（冷凍・冷蔵コンテナ）体制の構築であります。それらにより競争力を高めることを目的にした制度変更となっています。一般的に少し単価水準が下がることになっています。

「宮古地区の新たな空港利用計画について」

Q下地康教
宮古地区における宮古空港、下地島空港の２つの空港管理者である沖縄県は、新たな利用計画（宿泊施設の増加に伴う観光客数の増加）を打ち出す必要があるが、県の考えを伺う。

A土木建築部長
将来の空港需要の拡大に伴う２つの空港の利用計画については、宮古島市や関係団体等の地元の意見を踏まえ、対応を検討してまいります。また、宮古空港においては、将来を見据え、平行誘導路の設置が可能な計画となっております。

「多良間村など離島における水道広域化の課題と対策について」

Q下地康教
多良間村など離島における水道広域化に向けた課題と対策について伺う。

A保健医療部長
多良間村を含む離島の簡易水道の多くは、水源に乏しく、海水淡水化施設などの高度処理の導入により、高い水道料金や浄水処理を行う人材確保など、多くの課題があります。
これらの課題の解決のため、県では、水道広域化のステップ１として、令和７年度までの完了を目指し、本島周辺離島８村の水道広域化に取組んでいます。
多良間村を含むステップ２以降の水道広域化については、沖縄県水道事業広域連携検討会にて検討しています。

「農水産物の物価高騰対策の実施状況について」

Q下地康教
全国的な物価高騰の中において、農林水産物における肥料や飼料、燃油等の物価高騰対策は現在どの様に実施されているか伺う。

A農林水産部長
県では、肥料・畜産用飼料・漁業用燃油・養殖用配合飼料を対象に支援を実施しております。生産者への支払いについては、粗飼料分は昨年11月から、肥料分は12月から、配合資料価格安定制度の農家積み立て分は本年１月から、漁業用燃油分は２月から支払いを開始しました。

「新規就農者へのスタートアップ支援について」

Q下地康教
新規就農者のスタートアップ支援についてどの様なものがあるか伺う。

A農林水産部長
新規就農者への支援として県では、「新規就農者支援事業」による就農相談体制の整備や農業施設等の導入、「新規畑人（はるさー）資金支援事業」による就農準備資金や経営開始資金の給付等の支援を行っています。県としましては、引き続き関係機関と連携し、新規就農者への支援に取組んでまいります。

「下地島空港利活用に係る無償耕作者について」

Q下地康教
１９７１年11月24日付けで、当時の琉球政府と下地島地主会が「空港が整備されれば、地元住民を優先的に空港関連事業に参入させ、用地が整備されるまで無償耕作を認める」との条件を付して用地補償契約を結んだ経緯がある。それを踏まえて、県は、空港用地利活用の在り方をどの様に考えているか伺う。

A土木建築部長
当時の琉球政府（現在の沖縄県）は、地主会から提示された条件が実現するよう努力することで用地補償契約を締結するにあたり双方合意した経緯があります。例えば営農を希望する耕作者につきましては、宮古島市や関係部局とも連携して今後の対応を考えたいと思います。

ブルーインパルス要請

宮古青年４団体連絡協議会（代表幹事：具志堅貴昭氏）より12月11日の宮古島分屯基地開庁記念行事であるブルーインパルスの展示飛行に関する要望を頂きました。
沖縄・自民党会派を代表して（写真右より）下地康教、島袋大、座波一、花城大輔が要望書を受け取りました。
我が会派はこれからも離島振興ならびに安全保障体制の構築について全力で取り組んでまいります。

離島空港における国際線受入体制維持に関する要請

下地島エアポートマネジメント（株）から、コロナ禍における国際線の運休、国内線の減便による貨物輸送に係るハンドリング会社への経営支援要請がありました。
要請書を受ける、島袋大会派長と下地康教議員

沖縄県議会一般質問【一部抜粋】

令和４年（２０２２）第３回（６月定例）議会
下地康教一般質問議事概要

「離島における廃タイヤ放置及び処分対策について」

Q下地康教
宮古地区では、タイヤ販売店や自動車解体業者において、廃タイヤが大量に保管されている現状がある。その対策について伺う。

A環境部長
県としては、沖縄県産業資源循環協会等の関係機関と連携し、タイヤ販売店等の事業者に対し、廃タイヤの引取りに際し、タイヤ処理費用に係る適正な料金を徴収すること等により、適切に廃タイヤの処分を行うよう、指導・助言して参ります。

「宮古地区県道冠水被害について」

Q下地康教
狩俣砕石所が隣接する県道交差点の大雨による冠水被害の対応を伺う。

A土木建築部長
宮古管内道路の冠水状況については、県道保良西里線の城辺保良付近や、県道平良城辺線の袖山入口交差点付近の市道において、大雨により道路が冠水し全面通行止め等規制を実施している状況が発生しています。冠水箇所については、今年度調査設計に着手しており、今後、浸透桝の設置等、必要な対策を実施してまります。

「県道における植栽管理について」

Q下地康教
県道植栽の雑草繁茂が著しい。管理状況を伺う。

A土木建築部長
宮古管内の県管理道路では、年1回から2回程度の除草を行なっている。現在、沖縄本島内で実施している性能規定方式を令和5年度から宮古地区で実施するため、関係機関と意見交換を行う等、導入に向け取り組んでいます。

令和４年（２０２２）第６回（９月定例）議会
下地康教一般質問議事概要

「パラオカツオ漁技術支援に係る助成金について」

Q下地康教
パラオ漁業研修における伊良部漁協の貢献度は大きいものがある。事業の経費負担についてか伺う。

A農林水産部長
県では、沖合漁業の振興を進めるパラオ共和国の漁業者に対し、カツオ漁業等の技術研修の実施について支援を行っています。今年度は、伊良部漁協の漁業者の指導の下、6月にはJAIC、また7月には海外漁業協力財団の事業によって研修が実施されたところであります。

「クルマエビ養殖場の改修について」

Q下地康教
宮古島漁業のクルマエビ養殖場では、急性ウイルス血症の発生により、クルマエビ生産が中止に追い込まれた。その後の県の対応を伺う。

A農林水産部長
施設の老朽化により外海からの海水侵入による影響が考えられることから、国庫補助事業の水産物供給基盤機能保全事業を活用した改修事業が可能と考えられます。本年度は、補助事業採択に向けた施設老朽化の現況調査を実施し、来年度に事業計画書の作成、令和6年度に事業実施を計画しております。

「下水処理の溜枡設置問題について」

Q下地康教
合併処理浄化槽で処理した水を、なぜ、公共用水域（海や排水路等）に放流できないのか伺う。

A環境部長
沖縄県浄化槽取扱要綱では、公共用水域（海や道路側溝など）に処理水を放流する場合、単独処理浄化槽で処理した放流水のみの想定しかありません。現在、要綱では、合併処理浄化槽による処理水の放流基準がなく、合併処理浄化槽に係る地下浸透装置の基準や高度処理基準の制定を検討しているところであります。つきましては、土木建築部や保健所、宮古島市など関係部局と調整を行った上、必要な規定を今年度中に整備したいと考えています。

「マクラム通り線整備事業について」

Q下地康教
現在のマクラム通り線整備事業の進捗状況を伺う。

A土木建築部長
マクラム通り線は、現在、北給油所交差点からヤコブ保育園が隣接する下里北交差点までの延長340メートル、幅員16メートル、2車線の工事内容で事業が進んでいます。
令和3年度末の事業進捗状況は、事業費ベースで79%となっております。下里北交差点（ヤコブ保育園前）から事業終点のカママ嶺交差点までの下里工区は、下里北交差点から用地取得を進めて行く予定です。

「多良間村国営事業に係る県の支援体制について」

Q下地康教
県の多良間村国営事業の支援体制を伺う。

A農林水産部長
国営土地改良事業の着工に向けて、県では令和5年度概算要求で国営多良間地区の全体実施設計に係る経費を要求しています。県としては、引き続き、多良間村及び地元の推進協議会と連携して、灌漑施設整備等の関連事業に取組んでまいります。

令和４年（２０２２）
第７回（11月定例）議会
下地康教一般質問議事概要

「ブルーインパルス展示飛行に係る宮古空港使用について」

Q下地康教

ブルーインパルスが宮古空港を使用して展示飛行を行いました。知事は、宮古空港の使用をどの様に考えているか伺う。

A土木建築部長

県としては、公物管理の観点から支障を来す恐れがなければ、空港の使用を拒否することはできません。安全面や民間航空機への影響、駐機場の確保等について空港管制、空港管理事務所やエアラインなどの関係機関に照会し、今回の空港使用に関して不備がないことを確認しています。

「肉用子牛価格下落による生産者奨励金の実施状況について」

Q下地康教

優良肉用子牛生産推進緊急事業の実施状況を伺う。

A土木建築部長

子牛の販売価格が発動基準価格を下回った場合に奨励金を交付する事業であります。

本年６月から12月までの臨時措置として実施されております。本事業の実施状況は、発動基準価格の１頭当たり６０万円を下回ったため、肉用子牛生産者に対し、１頭当たり１万円の奨励金が交付されます。

「宮古島市農振計画の変更協議の取組状況について」

Q下地康教

前回の議会において宮古島市における農地転用基準に関する事前協議状況を質したが、その後の状況を伺う。

A農林水産部長

宮古島市農振地域の全体見直しについては、予備調査が続けられており、10月下旬には担当課が現地に向かい、農振除外で課題となっている主な箇所の現地確認を行っています。

今後、宮古島市と連携して農振法やガイドラインに従い、同意基準に沿った適切な運用となるよう取組んでまいります。

辺野古訴訟裁判に関する一般質問

「福祉医療について」

Q下地康教

重度心身障碍者医療費助成に関する現物給付について実施できないか伺う。

A子ども生活福祉部長

現在、県内全ての市町村では、こども医療費助成制度の現物支給が実施されていますが、重度心身障碍者医療費の現物給付の導入については、令和４年４月時点で各市町村に意向調査を行ったところ、自動償還方式の維持を希望する市町村が大部分となっております。

県においては、全国知事会等を通して、重度障碍者対する新たな医療助成制度の整備を要望しています。

記者のメモ

自然史博物館誘致に熱

○…昨年末の土木環境委員会の米国視察後、国立自然史博物館の沖縄誘致に向け、研究に熱が入る下地康教県議（沖縄・自民、宮古島市区）。「スミソニアン国立自然史博物館の巨大なアフリカゾウの剝製には度肝を抜かれた」と話し、展示の質、量、方法、どれを取っても圧巻の内容だったと感心しきり。県議会全体でまとまり、早期の誘致へ県民一丸となった機運づくりを狙う。米国視察には照屋義実副知事も同行したことから「しっかり旗振り役を」と執行部への注文も忘れない。

記者のメモ

委員長代行 全うし安堵

○…県議会土木環境委員会で瑞慶覧功委員長の欠席に伴い委員長職を代行した下地康教県議（沖縄・自民、宮古島市区）。慣れないながらも長年の行政経験を発揮。同じ会派の委員にも「質疑は議案の趣旨から外れないように」とくぎを刺すなど手際よくさばいた。一方、付帯決議の提案者を間違え「最初からやり直します」とつまずく場面も。２日間の委員会を何とか乗り切り最後は「新米委員長で大変皆さんにお手数掛けました」と苦笑しながらも安堵。次期委員長の座をぐっと引き寄せたか。

【沖縄タイムスより記事転載】

各所への視察

シュワブ視察・久辺３区との意見交換

会派沖縄・自民党は全議員参加のもと、名護市・金武町を中心に現地視察と地域住民の方々との意見交換会を行いました。

- キャンプシュワブ内の現況確認
- 久辺三区（久志、辺野古、豊原）地域の方々との意見交換
- ギンバル訓練場跡地視察
- KIN サンライズビーチ視察

宮古・八重山における海保の活動状況

沖縄本島、宮古、八重山を担任水域に収める第11管区海上保安部の活動状況をつぶさに視察することで、海上の安全と安心がどのように確保されるのか理解するために行われた。

石川県（金沢）・新潟県（佐渡）への視察

石川県と新潟県における「地域コミュニティの再生」や「離島観光の取組み」「農業教育・就農支援」「公共交通政策」を視察し、今後沖縄県の発展と離島振興等に資する政策立案のため視察を行った。